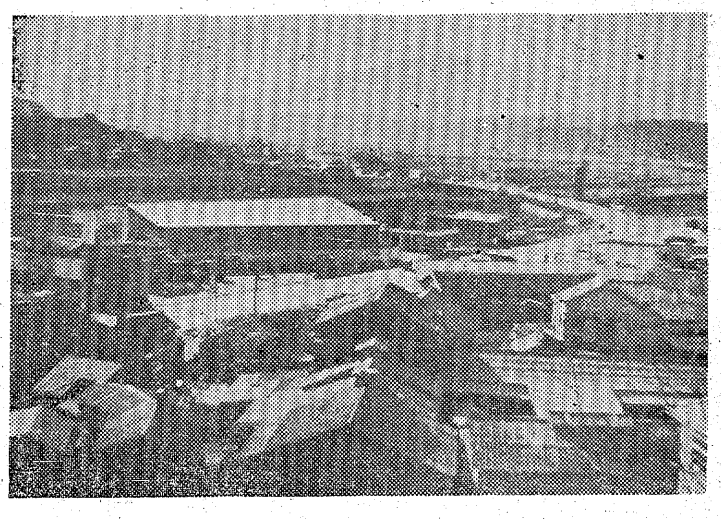
週刊 経済時事

発行所
平市紺屋町36
経済時事社
主幹　田原登
電話　4775
毎週　土曜日発行
定価3ヵ月　百円
一部　五円

平こ内郷こ好間 合併の世論高まる

石城総合開発の推進のために五市合併とかその関係市附近の町村も加入すべきであるという観点から広域市町村合併にすべきだとの問題が台頭している。而して平、磐城、常磐、内郷の四市には既に市長、議長、議員等によって合併研究委員会が結成されているが、勿来市はまだ出来ていないので合同研究会を一回も開いたことがなく新年を迎えた。然し勿来市も本年は合併研究会を設置しようとする空気もあると云われ若し設置されれば、今年は合同研究会が開かれる模様でこの石城の大問題も一歩前進しようとしている。斯うした情勢のなかにあって平市と内郷市と好間村は急速に合併し五市合併への先駆となすべきだという世論が高まりつゝあり、今後の関係者の動きが注目される。

五市合併に先駆 大温泉郷化の実現へ



平市と内郷市は担々たる国道から市役所までバスでやく十分で到着するほど便利であり地理的にも御台境や小島など平市内に属しているような錯覚さえ与えるほどであり、国道沿線は商社や民家がどしどし建築され遠からず内郷市の繁華街まできっしり建築物で覆われる状況に立至っている斯うした交通上の便利のほか内郷市は従来炭鉱都市として生きて来たが、今では内郷鉱の廃山などで石炭の出ない街と化したので市当局はこれに変る財源として御厩に放流される温泉資源を生かして一昨年からヘルスセンターを経営その利益を財源に当てるなど炭鉱の町から温泉町に変貌し今後もまた温泉活用を重点施策としている。またこれと併行して住宅都市化をめざし都市計画を着々進めている。

平市振興委員会

平市議会振興委員会はさきに平、四倉、小川、好間、赤井の一市二町二村の合併を推進するよう申し合せている。

合併は市民が幸福 元老強口市議語る

平、内郷、好間の合併問題について平市議の元老強口唯七郎氏談

平市の唯一の財源である競輪に平はいつまで依存出来るか判らない状況だ。公営バスもなかなか楽観を許さない。今後平は何によって生きて行くか、それを思うとこの地方の発展のために内郷市御厩に放流している温泉を利用することが時代の要請である。若しこの温泉が活用出来れば他所からの観光客を誘致し平市の繁栄は間違いない。若しこの温泉をどうしても利用出来ない場合は市内にボーリングしても揚湯すべきだ。平市が若しこれをやらない場合は私個人でもいくら経費がかゝってもやる決意だ。温泉利用は内郷市も平市も計画して将来の重点施策とすべき問題だからともに栄えるために両市の合併が先決である好間村も合併には今では賛成者が多いだろう。平と内郷は共通の目標があるのでなるべく早い機会に合併して大平市を建設し一大温泉郷化して百年の大計を早く樹てるべきだ内郷市副議長の鈴木磐夫君なども合併賛成者である。

斯うした矢先にあって若し平市と内郷市が合併されれば人口は十一万余となり県下では福島に次ぐ大都市と仰がれるばかりでなく、目下石城の重大問題として注目を浴びて来た温泉利用計画の大規模化や都市住宅計画なども良い結果を得られるものと見られ市民の福祉と幸福は期し得られるものと云われる。而して大多数の市民の底を流れる感情は合併を一日も早くすべきであるとしているが、市議の中には任期満了真近に合併したいと考えている人もあって必ずしも急速合併への足並は揃はない現状のようだが、文化の進む速度は近年著しく急速調で発展進歩している時代に従来のようなスローな考え方では立遅れを来たす恐れがないとも限らないので早急に合併すべきであるとの世論がぼつぼつはいとして高まりつゝある。

（写真は平市と内郷市の境界線の町）

多数市民が希望 内郷市某有力者語る

内郷市某有力者談＝内郷と平の合併は早く実現すべきだ。地理的にも内郷は平市の一部のような土地柄であり、交通も平市内と同様なのだ。炭鉱が駄目になって温泉を活用しヘルスセンターで市の財源を造っているが、大局から見てあの温泉は棄てたものだから誰れが利用してもいいのではないか。一分間に千五百立方メートルという大量の湯を放流しているという勿体ないことは許されないと思う。あの湯を完全に利用してこの地方の繁栄策にすべきである。また内郷では住宅を建設する計画だがこれも入居者が平から来てくれなければ話にならない。市民の大部分は合併に賛成しているように思う。議員の任期一パイ議員をやりたいなどといった小さなことにこだわらず早く合併して市民の幸福を得べきと考える。

小島部落で十年前運動

今から約十年ほど前内郷市小島の加藤武久氏らが発起で平市と小島を合併したいと猛運動を起したことがある。当時部落民の賛成調印をとり町議会の議決が必要なので町議会に諮ったが否決されてしまった当時平市はその合併に賛成だったが遂に実現しなかった

合併に賛意 大河原氏談

好間村大河原茂平氏談＝好間と平との合併は私の自論です炭礦に依存出来なくなった今日一村だけの自立は意義をなさない。大乗的見地から一日も早く合併を希望する。

岡見が岡

平と内郷と好間が合併した方がよいという世論が急に高まって来た。大きく見ると近代は世界の一国だけでは立って行けないので国と国との集団グループでやって行く傾向だ。また小さく見ると個人個人では立って行けなくなり、集団の力でやって行く様になって来た。▽公共団体などなおさらのこと小さな町村などは特殊な事情とか恩恵がなければ昔ながらの寒村生活を送るしかないそのために合併問題が起ったのだが、石城の五市合併も総合開発を完遂するために必要な宿命である▽その前に平、内郷、好間が合併したいという世論が上って来たことは当然である。これまでも合併は果してどうかと心配もあったがいざ合併して見るとそれは単なる杞憂であったことが判った。そして合併によって受ける利益は少なくなかったことが判った。▽いまぼうはいとしてわき起った平、内郷、好間の合併問題の前途もそう簡単なものではなかろうが、これを是と信ずるならば何もちゅうちょする必要はない。この合併によって何かマイナスになる材料はあるだろうか何もないように思う。そうだとすればこの話をどしどし進めるべきだ▽小さなことにこだわらず大乗的見地に立って地力の発展と繁栄を図り市民の幸福をかち取る様にして欲しい。

とき　一月十七日午前九時半
ところ　平市公会堂　日本間

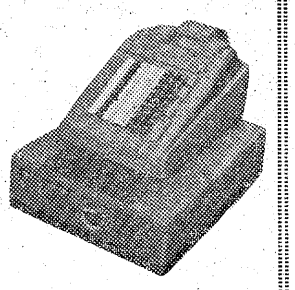
文化講演會

講師　東大教授　島田謹二氏

力行会報徳社文化部、尼子会、平市公会堂日本間で東大大学平市教委主催経済時事新聞社院人文科学研究科比較文学課後援の文化講演会は来る十七程主任教授島田謹二氏を招日（日曜日）午前九時半からて「一日本人の肖像」という表題で開催することになった講師島田教授は比較文学という新しい研究領域を日本で最初に開拓された学者で、現に東大大学院の主任教授である英文学者としてポオやロマン主義文学の研究に新しい光を投じたほか、明治以後の近代日本文学史を、世界大の見地から見直した数多くの労作を発表された。従来ごく狭い純文学の範囲に限られていた文学史の研究を拡大して、広く軍人や実業家の残した文章のうちにも、興隆期の日本人の面影をさぐり、近代文化の特質を究めようとされている。東大でもその名講義ぶりを知られている同教授の講演は、必ず深い感銘を聴衆に与えるであろう。入場無料、一般の入場を歓迎している。

謹賀新年
小川町長
若松晴司

謹賀新年
武蔵鉄工所
遠山勇
平市才槌小路
電　二五一四

ノルウエー製レヂスター
確牢価
正堅廉
アドウエル
電動式　¥150,000
加算　＋
減算　－
乗算　×
中間合計S
総合計自動印刷T

平市三十米大通り　萩金庫商会　TEL 3352・2631

精神衛生無料相談
財団法人　石城精神医学研究所
平市才槌小路電四三一七・四三一八
精神科
神経科
内科
新田目病院
院長　新田目五郎
本院　平市才槌小路電四三一七・四三一八
分院　平市上荒川安草　電　四三一九

総合開発に13億

来年度の公共事業費、大蔵省から内示

高柴ダムと水路に七億

大蔵省から来年度の公共事業について旧臘二十三日内示されたが、石城地方では高柴ダムはダム事業費三億一千万円、工業用水路四億一千万円の計七億二千万円一級国道六号線に四億五千二百万円、小名浜港湾に一億九千四百万円、小名浜港に新設するよう要求中の石炭ふ頭に一千万円の内示があった。合計で十三億七千二百万円。高柴ダム事業費は要求二億四千九百六十八万円に対し約六千万円上回る予算となり、これで三十三年度からの合計は十一億二千二百万円となり、ダムは来年度で完成される見通しがついた。また工業用水路は要求額四億五千五百三十六万円より四千五百余万円が削られたが、今年度から着工した同工事はこれで七億九千二百二十万円となり、残り二億一千三百八十万円は三十六年度に回されそう。一方小名浜港は要求三億四千六百円の約半分の一億九千四百万円、石炭ふ頭は八千六百万円の要求に対し、わずか一千万円のため、佐藤知事らは二十四日上京、さらに橋本常磐地区期成同盟会事務局長らが二十五日早朝上京し、大蔵省に予算復活を強力に陳情した。

高柴ダムの建設は三十二年度には二千万円で調査を進めダム事業費十一億二千万円、工業用水路十億六百万円の計二十一億二千六百万円の予算で昨年度から着工されたが、昨年度はダム事業費三億五千六百万円、今年度はダムに三億五千六百万円、工業用水路に三億八千二百二十万円が計上され、ダムの建設は急ピッチで進められて来たが、来年度でダムは完成されることになり、工業用水路は三十六年夏ごろまでに完成できる見通しである。大蔵省では常磐地区の総合開発には工業用水の確保が先決であるとし、来年度の予算は要求より二千万円も上回っが。一級国道六号線は来年度で平市塩地内から四倉町海気館前までの八・六キロの全舗装を完成し、さらに久ノ浜、富岡、原町など北方に工事の主力が向けられる。また小名浜港湾整備については要求三億四千六百万円に対し五十六%の一億九千四百万円のため、四年度で完成希望の防波堤長さ百十九メートルも百メートル程度しか完成できず、工事の見込みはこのほか岸壁五十メートルぐらいに止まる。また石炭不況対策の一環として小名浜港一万トン岸壁の裏側に石炭積出用岸壁の設置を陳情して来たが、これも要求八千六百万円に対し十一・八%の一千万円に過ぎず、これでは三十七年度までには完成できないため強力な復活要求を続けている。

職業総合訓練所 内郷市に内定

石炭離職者の救済に乗り出している労働省ではこれら離職者に技術を身につけさせその就職を促進するため、石城地方に石城職業総合訓練所を設けることになり候補地を物色内郷市と磐城市が名乗りを上げたが、結局内郷市堀坂地内の総合グランド建設地のうち整地が完成している野球グランド予定地一万六千五百平方メートルが適地と確認され、建設がほぼ内定した。内郷市堀坂地内の総合グランド建設は三十一年に県営として工事に着工したが、地元負担の予算がなくて今年度から放置されていたもので、同訓練所では年間四百八十人（昼間二百四十人、夜間二百四十人）を養成する計画である。完成は今年八月ごろになる模様。

小田翁の胸像

近く除幕式を挙行

石炭王と云われた小田吉次翁生前の徳をたたえて好間村長鈴木栄一氏らが発起でかねて翁の胸像を平市八幡小路の彫刻家本多朝忠氏に依頼製作中であったがこのほど完成したので好間中校庭玄関前築山に建設、近く除幕式を挙行する有りし日の小田翁は裸一貫から巨万の富を築き、かたわら磐女高の講堂を寄附、近くは好間中学へ一千万円を寄附して体育館を建設するなど社会事業に貢献した。

像は等身大で翁の生前をホーフツたらしめ、台石は総みかげ石、玉垣をめぐらし高さ六尺、総工費百万円で出来たもの。

（写真は小田翁の胸像）

市営住宅六十二戸完成

十八日抽選、七倍の競争率

平市の三十四年度市営住宅六十二戸が完成したのでこれが入居者抽選は来る十八日午前九時から公会堂で行なう。建設地が旧市内に多いところから入居希望者は四百四十一人のやく七倍という激しい競争である。とくに胡摩沢は六戸に対し七十一人の申込みで十二倍、七軒町は二十一戸に対し百六十一人、六人町は二十戸に百五十二人、中平窪は十三戸に三十人、下平窪は二戸に八人の申込みで押すな押すなの有様、選考委員会ではこの四百四十一人の実態調査の上ふるい落し抽選にのぞむことになっている。抽せんは午前と午後に分け、三角くじをひいて決める。

便利な布団 エアーマット

平市旧城跡金古政通氏夫人まつ子さんは空気入れふとんである〝エアーマット〟を扱っている。名古市で姉がやっている原田工業株式会社の製品で寝心地がよく安眠が出来、冬は暖かく夏はゴザでも敷けば涼しく、空気を抜けばかさ張らず衛生的で持ち運びが便利で、値も安いので家庭に普及したいといっている。内部は塩化ビニール特殊加工なため耐久力が強く、天然ゴム、スプリングの次点を是正したもの。

炭鉱離職者救済へ

臨時措置法を施行

最近の石炭不況はきわめて深刻な問題であり、本県でも常磐炭田地区をかかえ、これが対策に腐心しているが、十二月十八日、炭鉱離職者臨時措置法が成立し同日から施行された。

この法律は㈠炭鉱離職者が居住地域外へ就職するよう職業紹介を行うこと㈡県、市町村などで緊急就労対策事業を行い暫定的に働く機会を与える㈢炭鉱離職者について、特に職業訓練のための施設を設け転職を促進する㈣炭鉱離職者援護会を設け❶離職者に対する移住資金の支給❷職業訓練を受ける離職者に対する手当❸職業訓練を受ける者の宿泊施設の設置❹独立して事業を行おうとする離職者に対する生業資金の借入れあっせんなどの事業を行い国はこれに対して三億円の補助金を交付することになっている。などの当電緊急を要する炭鉱離職者の救済を図ろうとするもの。

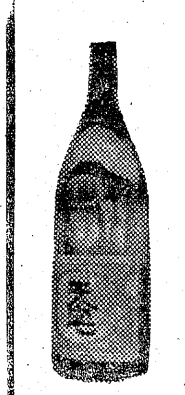
鉄道公舎移転の代替地買収

平市ではかねて懸案の白銀町鉄道公舎移転の代替地を年内に買収確保するため旧臘二十五日地主五人と市当局、市会代表との間で最終的な話合いを行なって取り決めた。これで鉄道公舎移転は三十五年度中に決めるよう今後国鉄側と細部折衝を行なう段階に発展した。

白銀町鉄道公舎の移転代替地に対する国鉄側の希望は〝手摑町〟という非公式な意向があったため、本年夏ごろから同町九品寺付近の一万平方メートルの地主と土地買収の交渉が重ねられた。結局平市発展に重要なウエイトを持つものだけに地主側は終始協力的だったお陰で、一万平方メートルという広大な土地買収交渉がスムーズに進んだもの。代替地決定後残る問題は平市が代替地に公舎を建てるか、それとも白銀町と手摑町との土地価格差を要求して国鉄が建てることになるかという二つの問題があるが、いずれにしても市としては国鉄が要望した代替地決定を足場として三十五年度は活発な公舎移転実現をめざし運動を集中することになった。

入浴料値上げを見送る

県公衆浴場環境衛生同業組合では新年から入浴料一円値上げをすることにしたが石城支部平組合（組合長愛沢正長氏）では元日に総会を開き値上げを見送ることに決めた。

清酒 天宅
名誉賞に輝く
平の最高清酒

山泉酒造株式会社
テンタク

急告!!
御婚礼用家具特売中
すみたに家具店
平市一丁目角（才槌小路通り）
電四七一二
工場　平市尼子町専売公社前

結婚披露諸宴会
予約承ります
すみや旅館
平市紺屋町
電三五五六・四五三八

株式会社
常磐ヤンマー製作所
平市一丁目　電四三二六・四三二七

医薬卸
神谷薬品株式会社
平市田町（新田町）
電四三三一・四三三二

新春の装は
百合で
化粧品・洋品・アクセサリー
平駅前大通　T5721
靴鞄・ハンドバック
平市二丁目　T5722
帽子
平市三丁目大通T5723

国産品の誇り
国際水準を行くキャプテンテックス
皆様のご満足のゆく洋服の御注文は
大平洋服店
平市堂の前　電三九七二
最新式ししゆう用シンガーミシン新設
大平洋服店ネーム部

家具のデパート
丸ほん
平市3丁目　電代表3107
工場　平市新田前電4416

若返った諸橋市政

案件の解決へ大童

新たに市民相談室も設置

諸橋平市長の公約であった人事の刷新は旧臘十九日、人事の大異動を断行し六十才以上を原則的に三月まで勇退することにし、新たに市長公室を設け六十才以上の四人を市長公室付とし年末の御用納めを期して室換えを行った。二階の競輪課は商工課の隣りへ行き、そのあとへ総務課だった室へ市長公室を新設し、市長公室へは丹野由雄、阿部陸幸氏が入る。新年になって総務部長だった佐藤信雄氏は五市公営交通事業団体事務局へ、商工課長だった鯨岡多久氏は新たに設けた市民相談室長となり、助役室の隣りの総務部長室であった室に入り、福島土木事務所長だった小斉安三郎氏も着任し、課長クラスは殆んど若手という新陣容で店開きをした。一新された空気のなかに諸橋市長は今年から公約の公営バスの運転、し尿処理場の建設、着工中の公認野球場の完成、温泉計画の推進など幾多の案件解決へ猛進すると張り切っている。新設された市民相談室長鯨岡氏は左の様に語った。

諸橋市長は市民の声を市政に反映させ、また市民各位の不平不満、苦情といったものを聴きその相談に乗って解決してやるために市民相談室を新たに設けました。この役は私が適任というワケで仰せつかったのです。どうか市民各位は市政に対する苦情でもまた個人的な煩悶や不平不満何でもかまいませんどしどし相談に来て下さい。親切丁寧に誠意をもって相談に乗ります。

殆んど京浜へ決る

中卒者の就職近く百%

三十四年度石城郡内の中卒者の就職は岩戸景気の波にのって出足が良く、既に十二月末までに六〇%が決定し、去る四日から年初早々あっせんを始めた。三月卒業を待たず百%就職確実という明るい見通しがたっている。

就職希望者は千三百五十一名内男子六百五十一名、女子七百名で、このうち男子百七十二名女子百七十三名が決定し内定は男子二百四十六名、女子八十七名である。男子の就職先は京浜地区が圧倒的に多いが女子の進出も目立っている。

求人側は大企業に多く特に女子に著しく、大部分は弱電気関係事業場でこれは手先の器用さを求める仕事からくる表われであろう。また男子は機械関係が多く昨年来よりの機械関係事業の立直りが需要増を来しているものである。

待遇も年々よくなってきており就職者も安心して職場で働けるようになってきた。

今後は本人の希望と合せて割当てるだけで、一、二月中には百%が決定する見通しである。

支部長に志賀氏

社民同平支部結成

県社民同盟平支部が結成された。これが結成式は去月廿日平市公民館に東北電労、常磐炭礦、東北ガラス、日本窯業などの各労組代表及び武藤武雄代議士ら約三十名が集り民主社会主義政党を育成するため、新党結成までに党員の現在六十名から二百名に増やし組織を拡大することに決り支部長には元社会党から除名された志賀伝吉氏が選ばれた。役員左の通り

▽支部長志賀伝吉▽副支部長七海清吉（東北ガラス）若松喜一（電労）▽事務局長緑川務（常磐労組）

売上げ一億二千万

正月三日間、戦後最高

新年三日間は元日は曇りだったが、二、三日とも春先の様な好天気に恵まれたうえ、今年から旧正月行事を廃して新正月一本に統一した等の関係もあってか、平市内への人出は例年より多く、平商工会議所調べによると延べ三日間で三十万人、商店街の売上げは一億二千万円と推定され戦後最高を記録した。炭鉱不況の影響は案外大したことがなかったこと、生活が一般に向上したことなどが原因と見られている。

大トロフィー寄贈

五輪選手の大平礼三君

一九五六年メルボルンに開催されたオリンピック大会にバスケット選手として活躍した平市出身大平礼三君（明大出）はこの度磐城地区バスケット協会に大トロフィーを寄贈した。協会では同君の功績と地区バスケットの隆昌を期待して大平記念賞として永く伝えることにした。

大平君は卒業後直ちに松下電器株式会社に入社大阪勤務前途を嘱望されている。

阿部文平氏柔道七段に

平市四丁目柔道家阿部文平（四五）氏はこのほど講道館七段となった。

石城地方で七段は岡田朝五郎氏と二人だけ、県柔道連盟常任理事、磐城柔道会副会長で斯界に貢献した功により昨年県体協会長蓮沼竜輔氏から表彰された。

（写真は阿部七段）

二十億九千万

十二月中の手形交換高

平手形交換所の去年十二月の交換高は二万二千七百三〇枚二十億八千九百二万七千六百九十二円で三十四年の最高記録だった。しかし三十三年十二月の二十二億四千万円に比し一億五千万円も下廻った。これについて金融筋では景気がよかったから現金で安く仕入れ、手形の乱発をさけたからだと見ており、昨年末は好景気だということになる。このほか不渡り手形八十八枚（八十四人）四百二十七万二千円で、このうち新年早々手形取引停止となったものが五枚五万三千円も出た。

平で移動県廳

温泉計画も質問か

2月6日開く

県民の声を県政に反映させたいということから県では移動県庁を県下各地で開いているが、浜通りで初めての移動県庁を来る二月六日午後一時から平市公会堂で開く。県から佐藤知事のほか各部長が来平地区民の要望や陳情を受け、即決出来るものは即決し、県議会に諮るものなど地区民の声に応えるという。石城には総合開発や石炭危機突破策、温泉計画など重要問題が山積しているので、質問者は地区市町村代表、団体代表などから質問攻めにあうものと見られ、県でも活発な質問をして欲しい希望なので有意義な質問応答が展開されるものと見られている。

一億円の損害請求公判延期

一億円の損害請求事件の公判は十二月二十三日地裁平支部で開く予定だったが急に判事の都合で延期された。

公営バス総会

十二日開く

石城五市交通事業組合では公聴会は予定より早く二月に開く模様なのでこれが準備のため十二日午前十時から平市役所で主管者会議を開き、引続き午後二時から組合総会を開いて運動方針を協議する。

和洋家具・漆器
御婚礼家具はどうぞ
株式会社 永木タンス店
平市三丁目　電四五三五
工場　平競輪場前

荒物雑貨
伊勢屋
平市四丁目　電二〇四五

あなたの利益です
大切な予算を上手に使う法
それは専門店に御相談下さ
ることです
キクヤ楽器店
平市2　TEL4002

驚くほど安い月謝で
いつでも入会できる
科
科
科

二宮尊徳の偉業（3）

その生涯と思想

天道と人道

尊徳が生み出したものは机上の空論ではなく、日々の生活のあけくれの中から体で感じとったものであるから、実践にそのままつながり、その理論は生活のためのものである。彼の最も素晴しいと思われる考え方は自然の中に於ける人間の立場、生き方というものをはっきりと科学的にとらえて断定してはばからないそれを天道と人道という言葉で巧みに表現している。二宮夜話から文章を抜き出してみる。

「それ人道は人造なり、されば自然に行われるところの天理とは格別なり」

「天理は万古変ぜず、人道は一日怠れば忽ちに廃す、されば人道は勤むるを以て尊しとし自然に任するを尊ばず」

「人道は天理に順うといえども又作為にして自然にあらず」

世の中の凡ゆる動きを天道と人道とに分けて認識したことは画期的なことである。尊徳の生きた時代は、幕末になって商業資本の台頭によりタガはゆるんだが、封建制度はまだまだ士農工商の日本人全部を縛っていたから封建思想を乗り越えた新らしい思想は見られず外来の思想もなかった。

そうゆう時にあって、天道と人道とに分けたことは君主とか武士とかの権威を認めないことになる。封建思想は天地と人為との間に区別がなく地に花が咲き空に雲が浮かぶということと同じように、農民より武士が一階級上にあり君主は絶対的存在であることに何んの疑いをもたなかったつまり天道と人道との区別がなく君主は神と同じであり、生活のささえである。

勤労者層の百姓はまるっきり認められていなかった。ところが尊徳は違う。今で云えば重農主義とでも云うべき農本の立場に立って、自然に働きかける人為の重要さとそこから来る人道のあり方を説いた「天下の貨財を生ずる者は細民なり」（夜話）

世の中を動かしている原動力は百姓町人であり武士でも君主でないと云っている。彼は革命的ともいうべき思想の持主であったと思われるのだがその前に現実主義者であったから、ひとり思想で先走って結局徒労に終るよりもこのような思想と実践とを車の両輪として飢死しかゝっている何万という百姓を救っていったのである。

又人道とは絶えざる勤労の道であることを説いている。家があるから耕やした田畑があるからといってそれで安住してしまっては、天道は容赦しない放って置いては総ては自然の運行に従って自然の一部となってしまう。自然の中にあって従う如く従わざる如く人為作為を営むところに生活の永遠の道があるということを説いている。

その頃百姓は武士階級のあくなき搾取にあって希望のない どん底の生活による怠惰と無気力におちいっていた。ひとたび飢饉になればもう救いの道はなかった。尊徳が天道と人道を説いたのも、今述べたような新しい思想を生んだという見方ももちろんあるのだが、真意は今死にかかっている農民達を希望ある方向へ進ませるべく明日の米を与えるべく働く土の中からその思想を生み出したからなのである。

人道即ち作為、作為即ち労働、労働こそ人間最高の行為である。天道即ち自然の運行そのまゝの姿であり人為を加えなければその法に従って生きよう。厳然とした天地と人との関係である。

三百万円の使途不明

平農協騒ぐ

平市中平窪の平市農業協同組合（市議木田源六組合長）に使途不明の三百万円があると騒ぎ出し同農協稲本竹正理事根本久光理事らがこのほど平署に捜査方を依頼したので表面化しその内容が暴露され成行きを注目されている。

法律相談

遺言の効力如何

問　遺言をして置きたいと思いますが、どのようにしたら良いでしょうか。

答　遺言は、いわば死にゆく者の尊い意志ですからいかなる形式でなされようとも尊重しなければならないものですが、しかしまた遺言は何分にもその効力を生ずるのが表意者の死後でありますので利害関係人の間に深刻な争を生ずる可能性もあり、死者の意志の確認が困難である為めもあって、法律は遺言の方式について厳格な規定を設け、その方式に合致しない以上遺言としての効力を一切認めない建前をとっています。民法の規定で認められている遺言の方式は、(1)自筆証書遺言、(2)公正証書遺言、(3)秘密証書遺言、(4)疾病の場合の遺言があります。その他伝染病で隔離されている場合、船舶が遭難した場合の遺言等がありますが、一般的な場合である右四つの方式を説明しますと、

㈠自筆証書の遺言は(1)用紙は何を用いてもよく、(2)自分で全文及び日附を書き、（従って代筆、タイプライターは無効です）氏名を自署し、(3)印を押すこと、この印は実印でなくとも良い。(4)加除訂正は変更した旨を附記して署名し変更の場所に印を押すこと。

㈡公正証書遺言は本人が成年の証人二名以上を連れて公証人役場へ行き、公証人の目の前で遺言を口述します。この方法は死後に遺言の真後について紛争が生じたり、紛失したりする怖れがないので確実な方法です。㈢秘密証書方法で遺言書を作成し、それに封をして証書に用いたと同じ印鑑で封印し、成年の証人二名以上を連れて公証人役場に赴いてその旨申出ます。㈣疾病等で死亡の危急にひんした時は、(1)証人三人以上に立合わせ、そのうち一人に遺言の趣旨を口述し(2)口述をうけた者は、それを筆記して遺言者及び他の証人に読み聞かせ各証人がその筆記の正確なことを承認した後これに署名捺印し、(3)遺言の日から二十日以内に家庭裁判所に確認の申立をします。

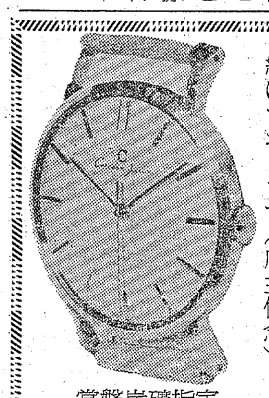
（回答者山野辺政豪弁護士）

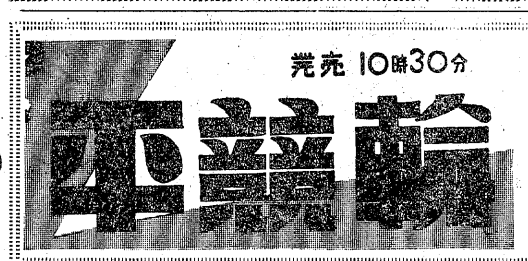
グラスを手に…
はつ春の
夜のひとどき
君と語らん
夢を…
むかしを…
コーヒーと洋酒の店
ムーン・レイ
平市二丁目 TLE 2888

大衆のデラックス
大キャバレー
フラワー
平市田町電二〇〇四・五四四一

甘太郎焼
真根井菓子店
平市銀座通り 電四〇二五

御宴会
予約承ります
ときわ
平市公園内 電二二二六


皆様に確実なる時計を
御使用して戴くために
絶えざる努力を
続けております（店主信念）
常磐炭礦指定
時計の専門店
西山時計店
常磐市電3284
力行会員の方に限り10回分割払

光売 10時30分

9（土）10（日）
11（月）
場外 福島・郡山
若松・平

クツの王様
レツクス・フレツクス
従来のクツよりぐつと
軽く弾力性がありとても快適です
素晴しい人気
靴の スガタ
本店平市銀座街電4604
支店平市二丁目電4059

皆様のご期待に添う様最新式
ワイシャツプレス機が入りました
佐久間ドライ
クリーニング
平市六丁目 電三八三一

時代と共に…
既製服なら
盛高屋
平市3丁目・TEL.3608

11日～18日
シネマスコープ総天然色
キリマンジヤロの決斗
ロバート・テイラー 主
ビクトリア・ショウ 演
コロムビア映画
ビスタビジョン・ドイツ映画
最後の戦線
凄絶悲壮のスターリングラード攻防戦！
19日～25日
狂乱のボルジア家
わたしを抱いて
完暖全房 ひかり座

娯楽映画は 三夜東映
東映スコープ
毎週東映3本立
大人 70円 学生 50円 小人 30円
1月9日～14日まで
謎の大文字（色）
警視庁物語第108号車
花嫁七変化
1月15日～20日まで
水戸黄門天下の副将軍(天)
紅顔の密使（天）
稲妻小天狗（天）
平日10時・日曜祭日9時より
新装開館 三夜東映
平警察署前・電(平)3 936

公認
不動産売買仲介評価貸家斡旋
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際 色川材木店内電二三六一番

財団法人 松村病院
労災指定病院
健康保険指定病院
国鉄嘱託医
外科 院長 松村亨
整形外科部長 堀野愛雄
性病科医員 豊川保雄
内科部長 高木浩雄
呼吸器科部長 四戸隆太郎
神経科部長 坂本剛
呼吸器科部長 金子甚蔵
産婦人科部長 佐藤稔
精神科部長 坂本剛
放射線科部長 四戸隆一郎
技師長 池田繁一郎
臨床検査部 技師長 佐藤吉雄
薬局 薬局長 宇佐見幸良
本院 平市南町二三
城東分院 平市手搦町二九
城南分院 平市小太郎町一八
電話（代表）二一六一～三
完全看護・完全給食
産室新設 入院・往診随時